

15 省力的畦畔管理のための草種検索と播種法

福島県農業試験場種芸部・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 水稻－水稻－雑草防除 分類コード 01－01－20000000

2 担当者 荒井義光・佐藤博志

3 要旨

稲作に要する労働時間は、作業の機械化やほ場の大規模化により年々減少傾向にある。しかし、畦畔の草刈り等の作業軽減技術はあまり進展していないことから、畦畔管理の省力化をはかるためのグランドカバープランツが注目を集めている。平成8年から省力的畦畔管理のための草種検索について検討してきた結果、有望と思われる草種およびその播種法を選定した。

(1) マメ科のダイコンドラおよびバースフットトレフォイルは草高が低く、被度が高いことから有望な草種と考えられる。また、イネ科のケンタッキーブルーグラス、レッドトップおよびクリーピングベントグラスは、出穂後の草高が著しく高まることから、畦畔 抑草剤や畦畔除草剤の使用または刈り払いが必要と思われた。

(2) 定着手法としては、直播が播種後の乾燥に強いことや作業の容易性から有望と考えられる。移植法は、各草種とも初期の根張りが弱く、マットの形成が不良であり、作業性から不良と思われる。また、各草種とも、播種した年は数回手取り除草を実施し、ノビエやメヒシバ等との競合を回避する必要があるが、越冬後の生育は旺盛であり、雑草の発生が少なく良好であった。

(3) 以上のことから、草種としてはダイコンドラおよびバースフットトレフォイルが有望であり、定着手法としては畦畔への直播が良いと考えられる。

4 主な参考文献・資料

(1)平成8～11年度春夏作試験成績概要(稲作)